

「令和6年能登半島地震」において被災された方々に心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

協会からの 情報提供は

- 一般向け情報誌

『森林と林業』

毎月25日発行

- 会員向け情報誌

『協会報日本林業』

毎月5日発行

いずれも土日祭日は
繰り下げ発行となります。

令和6年第1回林業団体懇談会 開催 林野庁から令和6年度林野関係予算の 概算決定等について説明

(一社)日本林業協会主催の「令和6年1月期・林業団体懇談会(林団懇)」が1月19日(金)13時30分から、千代田区麴町の「航空会館会議室」において開催された。

開会に当たって林業協会・島田会長から、「昨年末の予算・税制等の折衝においては、公共事業関係予算の増額、花粉症対策を始め林業の成長産業化に向けた内容の充実及び森林環境譲与税の譲与基準の見直しなど、団体からの要望に応える内容となっており、改めて林野庁の方々にお礼を申し上げる。なお、林政部長は能登半島地震対応でご欠席、長崎屋部長も後のご予定があるとのことで円滑な進行にご協力願いたい。」との挨拶が行われた。

その後、林野庁の長崎屋圭太森林整備部長、橘政行国有林野部長から、令和6年度予算概算決定額等のポイントやそれぞれの所管業務に関連する政策事項についての説明が行われ、質疑応答に入り、団体からの質問に対してそれぞれご回答いただき1時間に亘る懇談会を盛会のうちに終えた。

目次:

令和6年第1回林業団体懇談会	1
林政対策委員会開催	2
自民党の合同会議で令和5年度森林・林業白書の構成案が審議される	3・4
国会・業界行事日程(1月)	5



能登半島地震の被害状況等を説明する長崎屋部長



R6 予算及び管理経営基本計画等を説明する橘部長



質問する出席者

林政対策委員会 開催

「能登半島地震林野関係被害の報告」及び「国産材の持続的かつ安定的な利用・供給体制の実現に向けた現状と課題」について審議

自民党の林政対策委員会（中谷元委員長）が令和6年1月31日（水）午前11時半から、党本部で開催された。

本田太郎事務局長の進行で始まり、冒頭、中谷委員長から、「林政を巡る諸課題について、本日から週1回ペースで開催していきたい。熱心な議論をお願いする。」との挨拶に続き、江藤拓総合農林政策調査会長が、「森林環境譲与税の譲与基準見直しについては悔しい思いもある。能登半島地震ではかなりの箇所で崖崩れが発生しており、原因分析が重要。」と挨拶され、続けて細田健一農林部会長から「農林水産業にとってはピンチだがチャンスに変えていくべき。」との挨拶がなされた。

その後、議題に入り、林野庁の上杉和貴企画課長から、「国産材の持続的かつ安定的な利用・供給体制の実現に向けた現状と課題について」、続いて長崎屋圭太森林整備部長から、「能登半島地震林野関係被害の報告について」説明が行われ質疑応答に移った。

出席議員からは、「能登半島地震の影響は甚大。特用林産施設への支援措置はあるのか」、「地震で古い住宅が倒壊したり製材所等も被災している。復旧・復興に更なる支援・協力をお願いしたい」、「地震の被災状況把握は終わったのか。また、避難やその後の生活支援などで林道が役に立ったというような事例はないか」、「被害にあった住宅は耐震化が進んでいなかったのであり、木造住宅だから倒壊したのではないことをはっきりさせるべき」、「森林整備が減災に繋がったという例はないか。また、これ以上山腹などに太陽光発電を作るのはやめるべき」など地震に関連した質問が続いた。

一方、「Jクレジットやマイレージの活用が重要。指標に加えるべき」、「森林は吸収源対策として有効であり、DX投資の対象とすること。また、外国に比べて高い加工・流通経費を圧縮すべき」、「古木の利用を促進すべき」、「労災保険掛け金の全産業一律化を検討すべき」、「住宅の梁などでの輸入材シェアが高いのを改善できないのか。また輸出が伸びているのは何か」、「木造住宅のために被害が増えた」との報道が多いが、しっかり作っていれば大丈夫、というPRが重要」、「限界集落を支えていくことが重要」、「毎年10万haくらい伐って3万haくらい植えるスピードで600万haの適切な管理ができるのか」、「ウッドショック下でも青森では住宅メーカーと連携して上手く行っている。このような例をもっと普及すべき」、「都市の木造化推進法に基づく協定制度の効果の実態はどうか」、「バイオマス利用は電気だけでなく熱利用がポイント」などの質問・意見が次々に出され、林野庁から個々について回答がなされた。最後に団体からも発言を求められ、日本林業協会及び全国木材組合連合会の両会長から意見・要望が出され盛会のうちに閉会した。



林政対策委員会の様子（中央は挨拶される中谷委員長）

自民党の合同会議で令和5年度森林・林業白書の構成案が審議される

2月1日（木）12:30～自民党本部101号室で開催された「総合農林政策調査会・農林部会合同会議」において、通常国会に提出予定の農業関連6法案及び「令和5年度食料・農業・農村白書」の構成（案）並びに「令和5年度森林・林業白書」の構成（案）についての審議が行われた。

政府からの説明後に質疑応答が行われ、森林・林業白書関係については、「CW法の意義の周知が重要」、「特集での拡大造林の記述について関係者の心情に配慮すべき」、「採算の取れない人工林について自然林への転換を図っていることも記述すべき」等の意見が出され、林野庁から適宜回答された。

最後に江藤総合農林政策調査会長から、「各議員からの意見については誠実に対応すること。」との挨拶が行われ、白書の構成（案）については了承され閉会となった。

（以下が会議において配布された資料）

【令和5年度森林・林業白書構成（案）】

作成方針

1. 令和5年度 森林及び林業の動向（動向編）

- (1) 冒頭の特集は「花粉と森林」をテーマとし、スギ等の人工林が造成されてきた歴史やスギ花粉症等の顕在化と対応の経緯を解説し、花粉発生源対策を含め国民の多様なニーズに応え得る森林・林業・木材産業施策の方向性を紹介する。
- (2) トピックスでは、令和5年度における特徴的な動きとして、森林環境税・森林環境譲与税の取組状況やクリーンウッド法改正等について記述する。
- (3) 本編では、国民各層の理解と関心が一層高まるよう、森林及び林業の動向について、図表、事例、写真等を活用しつつ、記録・分析を行う。また、関連する農林水産省HPのアドレス・QRコードをつける手法も活用する。

2. 令和6年度 森林及び林業施策（施策編）

森林・林業基本計画等を基に、令和6年度に講じようとする施策を整理する。

- 1 -

森林及び林業の動向（動向編）の構成（1/2）

特集 花粉と森林

戦後スギ等の人工林が造成されてきた経緯や、スギ花粉症等の顕在化に対応してきた経緯を振り返るとともに、伐採・植替えの加速化や木材需要の拡大等の施策を総合的に推進するという花粉発生源対策の方向性や、花粉発生源対策を含め国民の多様なニーズに対応した森林を育むという今後の森林整備の方向性について紹介する。

トピックス（主なニュース）

- ・森林環境税・森林環境譲与税の取組状況
(税の意義、森林整備等への活用状況と取組事例 等)
- ・合法伐採木材等をさらに広げるクリーンウッド法の改正
(川上・水際の木材関連事業者による合法性確認等の義務付け 等)
- ・地域一体で取り組む「デジタル林業戦略拠点」がスタート
(林業活動におけるデジタル技術の活用、森ハブ・プラットフォームの開設 等)
- ・G7広島サミットにおいて持続可能な森林経営・木材利用に言及
(G7広島サミットの成果文書に「持続可能な木材利用」が初めて明記 等)
- ・令和6年能登半島地震による山地災害等への対応
(令和6年能登半島地震からの復旧に向けた取組 等)

- 2 -

森林及び林業の動向（動向編）の構成（2/2）



第1章 森林の整備・保全

- 森林の適正な整備・保全の推進
(多面的機能の発揮、森林計画制度 等)
- 森林整備の動向
(森林整備の推進、森林経営管理制度、J-クレジット 等)
- 森林保全の動向
(治山対策、生物多様性、森林被害対策 等)
- 国際的な取組の推進

第2章 林業と山村（中山間地域）

- 林業の動向
(林業経営・林業労働力の動向等)
- 特用林産物の動向
(きのこ類・薪炭等)
- 山村（中山間地域）の動向
(山村の活性化、森林サービス産業 等)



第3章 木材需給・利用と木材産業

- 木材需給の動向
(木材需給・価格の動向、違法伐採対策 等)
- 木材利用の動向
(建築・木質バイオマス、木育、輸出 等)
- 木材産業の動向
(競争力の強化、技術開発 等)

第4章 国有林野の管理経営

- 国有林野の役割
- 国有林野事業の具体的取組
(公益重視の管理経営、林業再生への貢献 等)

第5章 東日本大震災からの復興

- 復興に向けた森林・林業・木材産業の取組
- 原子力災害からの復興
(森林の放射性物質対策、安全な特用林産物の供給 等)

- 3 -

今後の予定（林政審議会）



時期	内容
令和6年3月迄	林政審議会への諮問／林政審議会施策部会で議論 (①作成方針(案) ②構成・骨子等(案))
3月以降	林政審議会で議論 ③概要(案)、本文(案) 林政審議会から答申
5月頃	閣議決定／国会提出／公表

- 4 -

令和 6年 1月 国会の動き

《国会関連》

- 10日（水）衆・参 災害対策特別委員会
令和6年能登半島地震に係る被害状況等説明聴取及び質疑
- 24日（水）衆・参 閉会中審査（予算委員会）
集中審議（令和6年能登半島地震等）
- 26日（金）衆・参 本会議
開会式
- 29日（月）衆・参 予算委員会
集中審議（政治資金問題等）
- 30日（火）衆・参 本会議
政府四演説
- 31日（水）衆 本会議
国務大臣の演説に対する代表質問

《政党関連》

- 5日（金）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
令和6年能登半島地震の被災状況と各種対応の進捗について
- 9日（火）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
令和6年能登半島地震について現地視察を踏まえた要望事項と各省庁対応状況の確認など
- 11日（木）自 令和6年能登半島地震対策本部
令和6年能登半島地震に係る被害状況及び政府の対応状況について
- 17日（水）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
能登半島地震の最新の被災状況と現地からの要望事項について各省庁対応状況の確認
- 23日（火）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
能登半島地震の被害・復旧状況の確認と現地からの要望事項など
- 24日（水）公 サーキュラーエコノミー・循環型社会
第三次提言に向けた党内論議
- 26日（金）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ」の内容と公明党の1次、2次提言の反映状況などについて関係省庁から説明
- 29日（月）自 政調、外国人労働者等特別委員会
1. 技能実習制度・特定技能制度見直しに向けた提言への政府対応について 2. 政府方針（案）について 3. デジタルノマド受入れに係る制度の検討状況について
- 31日（水）自 政調、林政対策委員会
（1）現状と課題について （2）能登半島地震林野関係被害の報告について

令和 6年 1月 業界の動き

- 1月17日（水）農林漁業信用基金
「令和6年能登半島地震」を「林業・木材産業災害復旧対策保証」の対象に指定
- 1月中 能登半島地震への対応
①へりによる山地の被災箇所調査への「日本林野測量協会」の協力②復旧支援用の木炭・練炭・専用コンロを日本練炭工業会と全国燃料協会が供給③全国木材組合連合会が応急仮設住宅用の基礎用杭・住宅用木材の供給④国土緑推「組手什」の供与及び「緑の募金=復旧支援使途限定募金（地震被害）」の開始
- 1月11日（木）国産材活用協議会及び
林業機械化協会
「立木取引市場」に関する有識者委員会が、林野庁補助事業・顔の見える木材供給体制構築事業「持続性が確保された木材流通のための立木取引（マッチング）の場の構築」の成果報告書報告書を取りまとめ
- 1月22日（月）一般社団法人ミス日本協会
「第56回ミス日本コンテスト2024」において「2024ミス日本みどりの大使」に安藤きららさん決定
- 1月11日～12日 WOODコレクション実行委員会
国産材の展示商談会「WOODコレクション2024」が開催され39都道府県・281企業・団体が出展 5,300人が来場
- 1月12日（金）全国国有林造林生産業連絡協議会
及び全国素材生産業協同組合連合会
「令和5年度森林林業中央研修会」を開催
- 1月19日（金）滋賀県広域合併検討会
滋賀県内6森林組合が合併し「滋賀県森林組合」発足及び県森林組合連合会が「主伐・再造林基金」を設置
- 1月16日（火）秋田県・県再造林推進協議会
「あきた未来へつなぐ再造林推進フォーラム」を開催